

令和7年度
アイヌ工芸品展

アイヌの美 — 彩りと輝き

Beauty of the AINU: Colour & Radiance



上: チカップ美恵子《フレベンナ/虹の歌》
2002年 個人蔵

下: 下倉洋之《KARIP》
2011年 個人蔵

写真撮影: 植村佳弘

11/Sat. 12/Sun.
2025. 1 → 14

開館時間=午前9時30分~午後5時 休館日=月曜日(11月3日、11月24日を除く)、11月25日(火)

観覧料=一般 1,000円(800円)、高校大学生 600円(400円)、小中学生 300円(200円)

※()内は10人以上の団体、親子(高校生以下の子とその保護者)、リピーター(当館または道立美術館特別展観覧券半券提示)、

もも得利用者の料金、11/1~7(芸術週間)

※あつこ 釧路・根室管内在住の小中学生は釧路芸術館ボランティアの会SOAの招待事業により観覧無料。

※くしろステイメンバースカード提示者、JAF会員、全国教職員互助団体協議会会員、当館SNSフォロー画面提示者は100円引き。

※学校の教育活動における小中学校、義務教育学校生および高校生(引率を含む)の観覧は無料。

※障害者手帳、療育手帳等の交付を受けている方(付き添いの方を含む)は提示により無料。※特別支援学校の児童生徒および引率は無料。

主催=北海道立釧路芸術館、公益財団法人アイヌ民族文化財団、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社 後援=国土交通省、釧路市、釧路市教育委員会、NHK釧路放送局、FMくしろ、公益社団法人北海道アイヌ協会 協賛=釧路芸術館ボランティアの会SOA

|文化庁・北海道補助事業|

芸術館

北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido

〒085-0017 釧路市幸町4-1-5 TEL 0154-23-2381 FAX 0154-23-2386
<http://www.kushiro-artmu.jp>

[SNSで最新情報を発信中]

f「北海道立釧路芸術館」で検索 @kushiroartmuseum @kushiroartmu

SNSフォロー割: 当館のSNSのフォロー画面を受付でご提示の方は100円引き

日 本の先住民族として主に日本国内に暮らすアイヌ民族は、20世紀半ばまで北海道、樺太、千島列島を主な生活圏としていました。樹木のほか、動物の骨、角、牙、魚皮や貝などの身近な自然素材から生活用具や儀礼具を作り出したほか、周辺の民族から布や糸、金属、ガラス玉などを入手し、服飾や木工芸に彩りのある文様ときらめく装飾を施してきました。

本展は、彩りと輝きをキーワードに、服飾や木工芸にみる豊かな色彩感覚と美意識に注目するものです。布を組み合わせた衣服やゴザ、刺繍を施した千島アイヌの帯、ガラス玉に鈴を連ねた樺太アイヌの首飾り、木に金属や鹿角で加飾した儀礼用太刀、儀礼用矢筒、煙草入れ、マキリのほか、儀礼などに使用した漆器などを紹介します。

あわせて釧路生まれのアイヌ文様刺繍家、チカupp美恵子(1948～2010)の華やぎあふれる刺繍作品とともに、現在活躍中の貝澤徹(木彫家/1958～)、下倉洋之(金工家/1975～)、藤戸康平(アーティスト/1978～)の現代作品を紹介します。



2



3



5



1



4



6



7

Beauty of the AINU: Colour & Radiance

- 1 《首飾り》(上・下段は北海道、中段は20世紀前半に樺太オチホで収集) 旭川市博物館蔵
- 2 藤戸康平《Singing for the Future》2025年
- 3 《樹皮繊維の衣服》(1938年に樺太西海岸で収集) 国立民族学博物館蔵
- 4 《真鍮製の酒杯》国立アイヌ民族博物館蔵
- 5 貝澤徹《イカヨビコ》(北大植物園所蔵資料の複製)2008年 作家蔵
- 6 《耳飾り》(小林泰一コレクション) 日本民藝館蔵
- 7 《刀柄》国立アイヌ民族博物館蔵

【関連事業】

○オープニングイベント 連続セミナー

11月1日(土)10時～(各40分) 於当館アートホール ※聴講無料
「アイヌ民具にみる彩りと輝き」

講師: 山崎幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター長・教授)

「アイヌ語の中の彩りと輝き」

講師: 北原モコツウナシ氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授)

○オープニングイベント アーティストトーク

11月1日(土)14時～(各40分) 於当館展示室 ※要観覧券

講師: 下倉洋之氏(金工家、本展出品作家)

講師: 藤戸康平氏(アーティスト、本展出品作家)

※聞き手あり

○オルシベスウオプ(アイヌのお話アニメ)上映会

11月3日(月祝)10時～、14時～(各60分)

於当館アートホール ※参加無料

○アイヌ文様刺繍ワークショップ(大人の家庭科)

11月4日(火)10～16時 ※要申込・要参加費

講師: 桃井芳子氏(アイヌ文化活動アドバイザー)

○ランチ&トーク “彩りと輝きのひととき”

11月6日(木)10～14時

於当館展示室・フランス料理楡金 ※要申込・要参加費

○アイヌ語カルタであそぼう～トゥレップンとイランカラフデ!

11月15日(土)・16日(日) 10時～(30分)、11時半～(30分)

於当館フリーアートルーム ※参加無料

○キュレータートーク

11月15日(土)14時～(40分)

於当館展示室 ※要観覧券

講師: 五十嵐聡美氏(本展企画委員)

○アーティストトーク

於当館展示室 ※要観覧券

11月16日(日) 講師: 貝澤徹氏(木彫家、本展出品作家)

11月30日(日) 講師: 藤戸康平氏(アーティスト、本展出品作家)

12月13日(土) 講師: 下倉洋之氏(金工家、本展出品作家)

いずれも14時～(40分)

※聞き手あり

●同時開催



国立美術館 コレクション・プラス 現代写真のはじまりとそれから

「現代写真の父」とも呼ばれるロバート・フランク(1924-2019)とウィリアム・クライン(1926-2022)。東京国立近代美術館が所蔵する2人の作品と当館所蔵の写真作品によって、現代写真の展開を紹介します。

主催: 北海道立釧路芸術館
後援: 釧路市、釧路市教育委員会、釧路新聞社、FMくしろ
特別協力: 東京国立近代美術館、国立アートリサーチセンター

ウィリアム・クライン《四つの顔、ニューヨーク》1954年、東京国立近代美術館蔵 ©William Klein Estate

観覧無料

▷プレミアムトーク

写真研究の専門家をお招きし、現代写真の展開について詳しくご講演いただきます。

11月8日(土) 14:00～15:00

会場 アートホール

講師 増田 玲 氏(東京国立近代美術館 主任研究員)

聴講無料

▷美術講座

展覧会の見どころや作品についてご紹介いたします。

11月23日(日) 14:00～14:45

会場 フリーアートルーム

講師 当館学芸員

聴講無料

●交通のご案内

○JR釧路駅から、徒歩で約15分

(南へ約1.2km)。

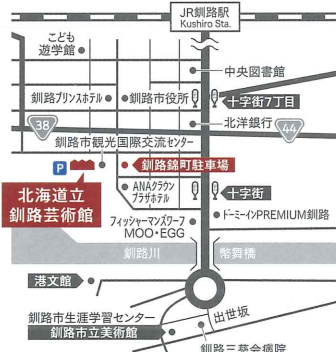
○くしろバス「十字街」(十字街7丁目)停留所下車、徒歩で約5分。

○釧路空港から市内行きバスで約50分、「フィッシャー・マンズワープMOO」停留所下車、徒歩で約2分。

* 来館者専用駐車場

8台(西側入口前)

特別展をご観覧の方は、釧路錦町駐車場の利用が2時間無料になります。駐車券を当館受付にご提示ください。



芸術館

北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido

〒085-0017 釧路市幸町4-1-5 TEL 0154-23-2381 FAX 0154-23-2386

http://www.kushiro-artmu.jp

【指定管理者】釧路芸術館共同事業体

【施設設置者】北海道教育委員会(北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表TEL 011-231-4111)

関連事業